

## 研究所だより

岩城 由紀子

今年度、協同総研は25周年を迎えるにあたり、協同総研周年記念事業として以下の3つを考えています。

- (1) 協同総研25周年記念集会の開催
- (2) 25年史の作成
- (3) わかりやすい協同組合の本作り

こうした事業を行う目的は、協同総研が1991年に設立されて以来25年の間、協同労働の協同組合の研究所として何を明らかにしてきたのかその到達点を提示するとともに、これからの研究の焦点をどこに定めるかを明確にしていくことです。

そのために、3つのテーマと座長を決めて研究会を進めています。3つのテーマとは、「協同組合の源流を訪ねる(岡安座長)」「よい仕事と社会連帯経営(永戸座長)」「協同労働という働き方とは(島村座長)」です。これらは、これからの協同組合運動につながる話であると考えています。



事業の詳細について

### (1) 協同総研25周年記念集会の開催

タイムスケジュール(案)ができましたので掲載いたします。今だ未定の部分もありますが、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2016年12月3日(土) 13:00～17:00

場所：日本労働者協同組合連合会8F会議室

13:00～13:10	25年間の協同総研の軌跡(映像資料)
13:10～13:20	開会あいさつ
13:20～13:30	趣旨、祝電、祝辞、参加者紹介
13:30～14:00	協同総合研究所25年の歴史から
14:00～14:10	休憩
14:10～15:10	記念鼎談
15:10～15:20	休憩
15:20～16:50	協同労働の協同組合の未来展望 3つのことを軸に

## ◇問題提起(3座長から)

「協同組合の源流を訪ねる」

「協同労働という働き方とは」

「よい仕事と社会連帯経営」

## ◇問題提起を受けてコメント

## ◇会場からの質疑応答

## ◇まとめ

## ◇記念撮影

※その後懇談会を予定しております。

## (2) 25年史の作成

今年度末までの発刊を目指しております。具体的には、年表やトピックを時系列にまとめることによって、25周年の変遷や出来事を視覚にもわかり易くまとめたいと考えております。

## (3) わかりやすい協同組合の本作り

来年の夏ごろの発刊を目指しています。わかりやすい協同組合の本を作る目的の一つは、協同組合で働くことの魅力を説明することです。これまで「協同=助け合い」を軸とした協同組合の説明は多くありましたが、それだけでは不十分です。なぜなら、協同組合における協同する主体、つまり労働や決定する主体は誰かの説明抜きに協同組合組織を語ることはできず、そのことが大きな違いであるからです。

もう一つは、労働が「生きるための手段」というだけでなく「自分らしく生きるための人生そのもの」であることを、子どもたちに真剣に考えて欲しいという切実な思いからです。新卒大卒者の非正規割合が4割を超え、例え正社員になったとしてもうつ病を発症し労働市場から投げ出される人が多くいます。ここには労働者をコストとみなす考え方があります。私たちは“子どもの働く観”を知ろうと、小学生から高校生までも対象にワーカーズコープの子育て現場でインタビューによるアンケート調査を行いました。子どもたちが語る将来の夢には、憧れや自分の能力を活かしたい、自らが主人公として輝きたいという希望に溢れた思いがありました。労働者はコストでも歯車でもなく、人間は労働を通じて成長・発達することの喜びを知ってほしいと思います。

子どもでもわかる優しい文章やレイアウトにすることで、協同組合に初めて触れる方、すでに協同組合で働いているが働く悩みを抱えている方など、多くの方に親しんでいただけたらと思います。